

みらいトピックス



1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



5 ジェンダー平等を
実現しよう



6 安全な水と
トイレを世界中に



7 エネルギーを
みんなに
そしてクリーンに



8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤を作ろう



10 人や国の不平等を
なくそう



11 住み続けられる
町づくりを



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさを
守ろう



15 陸の豊かさを
守ろう



16 平和と公正を
すべての人に



17 パートナーシップで
目標を達成しよう

地域の活動が、SDGsにつながっています。

水稻種子温湯消毒作業



常盤グリーンセンターでは3月20日から27日まで、水稻種子温湯消毒の受託作業を行いました。令和6年は生産者189人が申込み、はれわたりや青天の霹靂などの種子約31トンを1日に約4トンの消毒作業をしました。

温湯消毒は、農薬を使わずに温湯で殺菌する方法で、苗立枯細菌病やもみ枯細菌病、いもち病などに対し防除効果が期待できます。

消毒作業は、敷地内にある旧常盤農産物加工センターでJA職員や作業員らによる手作業で行い、JA職員ら8人が4袋ずつ持ち作業。60度の温湯に約10分間浸した後、冷水で冷やす作業を繰り返しました。発芽率の低下防止や、病害の防除効果を発揮させるため、浸漬温度と処理時間の管理を徹底しました。

作業を行った同グリーンセンターの古川広之営農指導係長は「廃液処理が不要な温湯消毒は環境にやさしくSDGsに合致した取り組みです。今後は「みどりの食料システム戦略」を念頭により多くの生産者に申し込んでほしい」と話しました。



温湯から水稻種子を引き上げる職員ら